

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検
事務事業名	世界文化遺産登録推進事業		シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	世界文化遺産推進室	部
		課	評価責任者(課長名)	増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 17 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	百舌鳥古墳群には、かつては大小合わせて100基以上の古墳があったが、都市化の進展などにより、現在ではおよそ半数になっている。その中には、世界三大墳墓に数えられる仁徳天皇陵古墳をはじめとする巨大前方後円墳などが含まれており、古墳文化を代表するとともに市民に親しまれている貴重な歴史遺産である。この百舌鳥古墳群を次世代へ保存・継承するとともに、歴史と文化を活かしたまちづくりに活用していくものである。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他(大阪府・羽曳野市・藤井寺市)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民、来訪者等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群を人類共通の遺産として保存・継承し、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産への登録をめざす。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	令和元年の世界文化遺産登録実現に向けて、登録を着実なものとするため大阪府、羽曳野市、藤井寺市と連携し、関係省庁等と相談、調整を適切に行う。 「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会」や民間企業とも連携し、世界遺産登録に向けた機運の醸成に取り組む。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務の受注業者、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議				

Ⅲ. 投入量

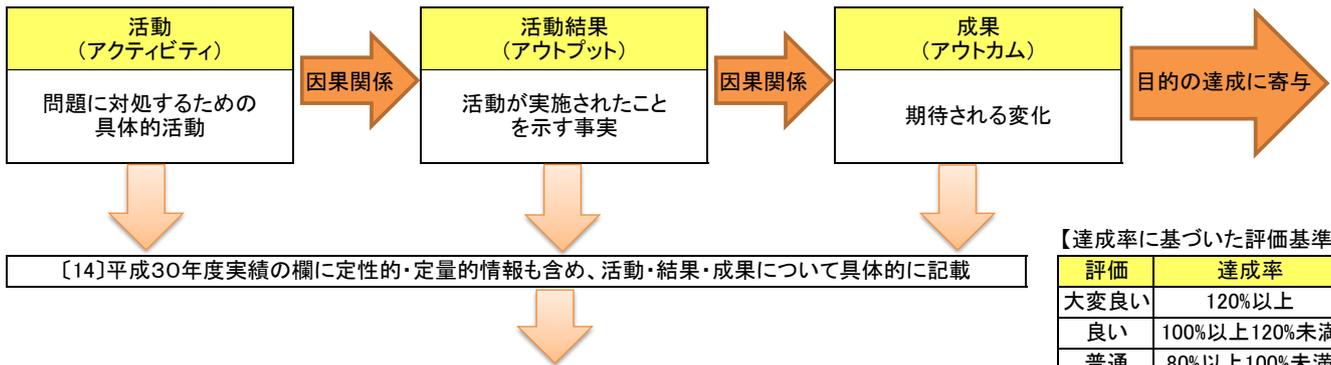
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	30,692	36,346	40,089	46,402	
11 主な事業費内訳	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議負担金(H23~)	千円	16,355	16,475	19,331	20,955
	講演会等開催・PR物品制作等	千円	207	4,646	1,759	1,590
	百舌鳥古墳群調査研究・事例視察	千円	91	424	2,694	6,874
	関係機関調整	千円	863	2,575	486	1,468
	国・府支出金	千円				
	財源内訳	千円				
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円		178	318	300	
市債	千円					
その他(寄付金(世界文化遺産登録推進基金)、繰入金)	千円	6,879	5,800	10,900	10,548	
一般財源	千円	23,813	30,368	28,871	35,554	
12 人件費 (b)	千円	56,740	56,660	56,660	56,400	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	87,432	93,006	96,749	102,802	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	世界文化遺産登録推進事業	シート番号	08-68
-------	--------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	9月に実施されたイコモスによる現地調査において、大阪府、羽曳野市、藤井寺市と連携し、関係省庁との連絡、調整を密にし適切に対応することができた。また、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会をはじめ民間と連携し、区民まつりでのブース出展や古墳祭り、謎解きゲーム等の取り組みを進め、堺市民の会の会員数が4万人を突破する等、世界遺産登録に向けた機運醸成に取り組んだ。					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		講演会等の参加者数	目標値	750	700	800	900
			実績値	800	1,039	1,055	
			達成率	107%	148%	132%	
	評価	良い	大変良い	大変良い			
	算出方法・設定根拠など		講演会等事業に多くの方々に参加していただくことが、古墳群の価値や魅力に対する理解を深めることに繋がるため。				
	16	目標					
		令和元年の百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録					
		目標に対する実績	9月にイコモスによる現地調査が実施された。				

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	イコモスの現地調査の様子が報道されたことや、各種イベントにおけるPR活動を通じて百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に対する期待が高まっていることが講演会等参加者数の増加に結びついていると考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。